

中村良広先生のご退職によせて

経済学部長 坂 上 智 哉

中村良広教授は、令和3年3月をもって経済学部を定年退職されました。ここに長年にわたる熊本学園大学および経済学部に対する先生のご貢献に感謝の意を表する次第です。

中村先生は、1977年九州大学大学院経済学研究科博士課程を単位取得退学され、九州大学経済学部、鹿児島大学法文学部、北九州市立大学経済学部を経て2005年に熊本学園大学経済学部財政学担当の教授として赴任されました。以来教育と研究に情熱を注がれるとともに、大学院経済学研究科長などの役職も歴任し、学部ならびに大学の発展に寄与されてきました。

中村先生は、ドイツ税制改革との対比で、日本の税制改革に関する研究に一貫して取り組んでこられました。先生の研究成果は『所得税改革—日本とドイツ—』（2013年）などの著書にまとめられています。東西ドイツ統合後の1990年代に厳しい経済状況にあったドイツは、その後の大きな税制改革を経て財政収支が健全化し、今日ではEUのリーダーとして確固たる地位を築いています。ドイツの税制改革は、少子高齢化のもとでの社会保障と財政の持続可能性が大きな課題となっている我が国の参考になることは言うまでもなく、先生の今後の研究にも大いに注目したいところです。

ところで中村先生は、休日には仲間と一緒に船で玄界灘に釣りに出られるなど、とてもアクティブに行動される一面もお持ちです。趣味を大いに楽しみ、研究に力を注ぐといったメリハリをつけて過ごされたことが、数多くの研究成果につながっているのではないかと思います。

最後になりましたが、中村先生のこれまでの教育と研究へのご尽力に感謝するとともに、今後はなにとぞ健康に十分留意されて、これまで以上にご活躍されることを祈念いたしまして、退職記念号によせる言葉といたします。